

# 還暦を迎えて

平成 20 年 8 月日  
八木邦雄

先日は私の還暦を家族みんなで祝ってくれてありがとう

還暦とは 60 歳の祝いです。

干支の 12 支が 5 回めぐって一巡して 60 年です

だから 60 歳は一区切りであり、老人になる祝いだった

ずっと昔は、早くから家督を子供に譲って、40 から 50 歳で隠居したようです

商人は、子に店を任せ、

職人は、子に技を伝授し、仕事を任せ、

農家は田畑の耕作権を子に家督させ、

武士は、お城務めや家禄を子に継がせました。

小生は

去年 59 歳の誕生日を迎える前に会社を退任しました。

かなり精神的に疲れて、「もう良いのではないか」と思い

子供たちも、立派に自活できるようになり、

少しは蓄えも有り、

身体的には 70 歳までもつかなくとも思い

あと少しの人生

好きに生きたい。好きな事をしたい。常に素直な気持ちでいたい。

そう「恒心」を望み、実行しようとした。

利害を超越したい

老人の心境、または老人への準備の心算でした

一般的なサラリーマンは 60 歳の定年を迎え、

仕事を終わり、悠々自適か

そのまま同じ会社で役職を退き働くか、

別の会社で別の仕事をするか

独立するか

のどちらかだと思ふ

お金、身体、意欲、考え方、子供の状況、立場、付き合い、

によって違ってくる

59 歳で仕事を辞めるとは若い頃は思っていなかった

当時は 55 歳が定年だったこともあり、

ただ、55 歳までに子供たちの学業を終えさせ、

独立した大人になって安心できるようになり、

あとは夫婦二人で好きにしたい

60歳定年制になったら、60歳で辞めようと思っていた。

だから

お金や、趣味のところで、早くから自分達二人の終生の準備をしよう  
とは思っていた。

それで、津に「終の栖」として、「趣味の隠れ舎」として、「恒心庵」を持った。  
津は大阪と名古屋の間にある。

老人とは今の法律では、

65歳から74歳を前期高齢者

75歳以上を後期高齢者というそうです。

だから60歳は老人ではないのです

平均寿命も女86、男79歳だそうだ

だからか？だけでもか？

手伝いをして欲しい旨の依頼も断っていた。